



北海道文教大学

後援会 会報

No. 4

CONTENTS

- 後援会活動報告 1
- 理事長・学長挨拶 2
- 就職課より 3
- 平成20年度決算 4
- 平成21年度予算・事業計画 4
- 平成21年度父母懇談会 4

平成21年9月1日(火)

発行責任者 伊藤誉志久
 発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
 北海道文教大学事務局学務部教務学生課内
 北海道文教大学後援会 TEL 0123-34-0011

「平成21年度の 後援会活動などについて」

北海道文教大学後援会会長
 伊藤 誉志久



会員の皆様には日頃から後援会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
 ご承知のように、北海道文教大学後援会は、文教大学並びに短期大学の建学の精神に則り、会員の皆様方相互のご協力によって、大学と短期大学部を後援し、その発展充実に寄与することを目的として、会員の皆様方からお預かりした会費収入により、様々な事業を展開しているところです。

この会報は、後援会事業の報告などを通じて会員の皆様方に後援会に対するご理解を深めていただくとともに、もっと関心を持っていただくことを目的として、平成19年度の新規事業として開始し、今回で第4号となりました。本号では、今年度前半における後援会活動のあらましなどにつきまして会員の皆様にご報告をさせていただきます。

1 平成21年度総会について

今年度の総会は、入学式に併せて4月4日に開催されました。私からは、昨年度の決算報告や今年度の事業計画等について説明させていただきました。その後質疑等を受けましたところ、以下のような質問・要請などが寄せられました。

質問・要請などの内、その場で答弁したのもありますが、検討が必要事項等については、役員会で協議・検討することとし、去る5月22日(金)に新理事を含めた第1回役員会を開催し、以下のとおり協議を行い一定の結論を得たところです。なお、協議事項等に係る明年度における対応については、改めて協議のうえ総会に諮る参ります。

○短期大学部音楽設備整備事業については、最終的には個人の持ち物への補助となるものであり、止めるべきではないか

○当該事業は、過去の経緯等を踏まえて特別に2カ年度事業(平成20・21年度)として計上したものであり、平成21年度をもって廃止する事業である。なお、当該事業にて整備された「エレハン用ヘッドホーン」は学内備え付けのものであり、学生個人々が勝手に持ち歩くものではないか。

○慶用費は廃止して、学生への還元に充てるべきではないか

日本の伝統文化、互助精神の発露、言わば気持ちの問題であり、親御さんの不幸に対する後援会からの甲意は学生への慰めとなるものである。後援会会則の事業規定においても、会員相互の親睦が規定されている。

なお、今年度は現行の執行方法によることとするが、明年度予算編成の際には継続する方向で新

たに規定を検討し直すこととする。

○入学式及び卒業式の際に配布されている「紅白饅頭」については廃止し、学生への還元に充てるべきではないか

○「の節目、お祝い、セレモニーを盛り上げるもの」であり、廃止すべきではないかという時に非常に感激したもので、今後とも続けたい。

継続する方向で検討する。

○今後、ますます進む大学の選別においては、福利厚生施設及び事業の充実強化が大きなポイントとなる。大学当局も後援会もそのような観点で事業展開を進めるべきである。

選別における本質は、学問の府としての業績を挙げることであり、いずれにしても、学生が勉学に勤しみ有意義なキャンパスライフを過ごせるような環境整備を進めることは当然であり、今後とも後援会としても努力する。

○大学当局と後援会が実施すべき事業の棲み分けをキチンとすべきである。

従来からその点については注意を払って検討している。しかしながら一方で、会則に規定されている事業のうち、「特別会員(先生方)の学術研究並びに福利厚生に関する補助」など、全く手の付いていない事項もある。様々な事業について、実質的に学生に還元されることを念頭に、今後とも十分に注意を払いたい。事業のあり方を検討していきたい。

○修学資金貸付制度は大変有意義な制度と考えられているので、授業料滞納者の督促に当たっては、制度周知も同時に実施してはどうか

○そのような方向も会員の周知に努めることとする。

2 平成21年度の新規・拡充事業について

今年度においては、新規事業として「学生福利厚生施設整備費」及び「後援会活動調整基金」を計上することとし、「後援会文庫整備事業費」についてその予算額を拡充することとしました。

○学生福利厚生施設整備費

100万円/最大300万円まで

花と緑の街恵庭というのを踏まえ、屋外の芝生等にベンチなどを整備し、昼食を摂ったり学生間のコミュニケーションを取る場を提供する。なお、本事業については、大学側から寄せられた昼休み時間における学生の動向に関する情報の確認も含め、去る6月24日に後援会理事による「キャンパス・ウォッチング」を実施し、その後2回WGでその対応を決定したところであり、大学側のWGでその対応を決定したところであり、WGでの決定について

は、第1回役員会で任をいただいております。また、不足分は予備費より充当することといたします。

○後援会活動調整基金 100万円

大学としての記念事業や特殊案件(学生サークル会館建設等)など、多額の経費を要する事業における後援会としての対応を考慮して積み立てる。

○後援会文庫整備事業費 200万円

学生からの要望を踏まえた図書整備(平成20年度予算100万円から倍増)

3 後援会が抱える課題の行方について

私が会長に就任して3年目となりました。就任時において、私は後援会には大きな3つの課題があると考えておりました。前会長も非常に心配されておられたことですが、それは以下の三点です。

①親御さんのお子さんの関心が低いのではないかと
 ②後援会事業はどのままで良いのか
 (既存事業の見直し・新規事業の検討)

③後援会執行体制の適切な構築
 この課題の解決に向け、平成19年度にWGを設けて種々協議・検討を重ね、様々な対策などを実施し、また、本会報等を通じてその実情を訴えて参りました。

その結果、「①」については、関心の低さを表す一つの指標である「総会」への参加者が相変わらず少ないものの、「父母懇談会」への参加については改善が見られております。

「②」の後援会事業については、大学・短期大学部側からの要請やWGでの議論を踏まえて、様々なバリエーションを揃えることができるようになっております。

「③」は結局「②」の裏返しのようなことですが、何度も申し上げるように、この4月までは会長、副会長及び監査の5名は既に在学生を抱えておりません。既に、在学生にいる学生を有していない者が後援会運営の中枢を担っているというのは、私からは異常なことと思えません。

幸いなことに、その後開催された新年度最初の役員会において、新入生の親御さんの中から新たに副会長への就任を承諾していただき、また、理事歴のある方の中から監査及びWGメンバーの就任を得ることができました。

私としては、役員全員が在学生を抱えている理事の方となるよう、今後とも何らかのバリエーションなども含めて検討して参りたいと考えております。

以上ご報告させていただきましたが、冒頭に申し上げたように、本会報は、後援会活動の状況などを会員の皆様方にお知らせし、「ご理解」と「協力」を得ることが何よりも大切との認識のもとに始めたものです。是非お読みいただき、後援会活動に対するご意見、ご要望などがあればお寄せいただきたいと思います。

終わりに、私も役員はそれぞれ仕事をもちながら、言わばボランティアとして後援会活動に従事しておりますが、活動に行き届かないところもあるところですが、会員の皆様方には事情をご察察のうえ、後援会の目的が達成されますよう、今後とも後援会活動への積極的なご参加と、なお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

新学科「国際言語学科」・

「こども発達学科」

―未来性と可能性の教育

学校法人鶴岡学園 理事長
北海道文教大学・北海道文教大学短期大学部 学長

鈴木 武夫



大河ドラマの影響で「天地人」をどう解釈するかということが、いくつかの場面で語られます。学園運営にあっても、ふと考えて顧みる機会とすることも無益ではないでしょう。

私は「天地人」を、「天の時、地の利、人の和が成って、ことが成就する」というふうには解釈しません。「天の時や地の利」が整っても成功しない例をたくさん見てきました。「人の和」もただ「仲がよい」だけではうまくいきません。

私は「天の時や、地の利」に恵まれていなくとも、「人の力の総和」こそが、困難を乗り越える原動力なのだということを経験則としてもっております。

本学の基礎を作った外国語学部は時代の要請に応えて、「国際言語学科」としてより地球的規模で国際的な活躍のできる職業人を育成する方向で再編成されます。

委員会や教授会の議論の過程ではどのような方向で流れができていくのかと心配した時期もありましたが、中堅の先生たちの共同作業によって未来を切り開こうとする前向きな具体案のもとに方向が確認されたことを喜ぶたいと思います。

人間科学部に新たに設置される「こども発達学科」は、基礎的な幼稚園教諭・保育士資格のうえに、「小学校教

諭」と「特別支援学校教諭」の資格も取得できます。

「問題なのはむしろ大人。」というテーマのコピーは、皆さんから衝撃的ですねと言われます。「大人」はいたたくさんの問題を抱えて、現状の打開のための方策を求めて逡巡しています。でも、「こども」は純粋な瞳を輝かせて世界を見つめています。この「こども」たちの可能性を伸ばすことこそ「大人」たちの使命ではないでしょうか。

先日、大学の学部長学科長会議に、北海道文教大学明清高等学校の教頭先生と進路指導部長にきてもらって、高校をめぐる情勢をお話ししてもらいました。

「高校と大学の接続と連携」につきましては、十年前の「中央教育審議会答申」によって強調されたものですが、大学のユニバーサル化の進行する状況のなかで、より一層の連携の強化を具体的に進めなければならないことを深く認識するよい機会となりました。

社会そのものが大きく変化しようとしています。本学園にあっても構成員各自の「人の力の総和」を出し切って、教育の正道を進んでゆかなければならないと肝に命ずるところであります。人の力の総和を結集し、改革を恐れず社会貢献への強い使命感をもって進んでまいる所存であります。後援会の皆様のご理解とご支援を心からお願ひ申しあげる次第であります。

平成21年度 北海道文教大学後援会役員名簿

名譽会長	鈴木 武夫	会長	伊藤 誉志久	副会長	木村 昌幸	副会長	遠山 英行	監査	進藤 春美	監査	佐藤 博	理事	西谷 紀子	理事	大坂 優子	理事	小林 翠	理事	齊藤 澄子	理事	荒関 克子	理事	佐々木 義行	理事	水越 珠美	理事	安藤 裕子	理事	本田 陪照	理事	吉野 祐二	理事	齊藤 真理子	理事	神谷 忠孝	理事	近藤 文衛	理事	佐藤 信雄	理事	石丸 朝生	會計	櫻澤 倫子	事務局	片桐 敏明	事務局	大藤 昭	事務局	浅見 晴江	事務局	櫻澤 倫子
------	-------	----	--------	-----	-------	-----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------

理学療法学科 一期生の臨床実習で 得た力を就職活動へ

いよいよ理学療法学科の二期生は来年三月に卒業を迎えます。学科として、一年生では病院・施設の見学実習、二年生は二週間、三年生は一週間の臨床実習を計画・実施してきました。三年間の実習に於いて病院・施設の見学や理学療法法の専門の方々の講義や実習体験によって、勤労観や職業観を序々に培う学外での実習体験を積んできました。学年進行や専門性の深みに応じて計画的に実施してきた実習を基盤に、四年生で正味七週間に亘る総合的な実習を二回計十四週間実施しています。

特に四年生での臨床実習は、就職活動との関わりも考えられますので一人ひとりの学生がしっかりと目的意識を持って実習に臨み、今後の就職活動や国家試験対策に繋がる実りある実習を終える為にも、事前指導や実習先の訪問などで、学科の教員が総力を挙げて取り組んできています。二十一年度・二十三年度と続く作業療法学科、看護学科四年生の臨床実習に共通する点も考えられますので、就職課からご父母の皆さんに理学療法学科四年生の臨床実習についてお知らせしたいと思います。

一、実習期間

総合実習Ⅰ

① 四月十三日～六月五日

② 四月十三日～五月二十九日

六月日～六月五日

①は一般病院②は介護保健などの施設で、後半の5日間は施設の付属の一般病院で実習

総合実習Ⅱ

① 六月二十一日～八月七日

② 六月二十一日～七月三十一日

八月三日～八月七日

二、実習先

総合実習Ⅰ、Ⅱ合わせて二八病院・施設(内道外十二)

三、実習先人数

八十二名 多くは各病院・施設一名ずつ配置

四、事前の実習先との連携

大学(昨年八月)及び学外(今年三月)で、実習先の指導者会議を開催

・実習中に指導をして頂きたい内容の依頼

・本学教員を講師とする指導者講習会の実施

・三月の指導者会議実施日に学生は実習先指導者と面談し、実習中のマナー、持参するもの、事前の学習内容などについて指導を受ける。

五、実習の評価

- ・実習先の指導者の評価内容
- ・学内報告会の発表内容
- ・ディリーノート(実習中の日誌)
- ・レポート
- ・その他

本学教員の実習先訪問時の実習先の評価や実習時の学生の観察・面談内容などを参考にします。

実習を体験することによって、理学療法士の業務内容や役割を実感し、専門分野に於いて特に自己を磨いていく課題が明確になっていくものと思います。

学科を問わず、今後実習に参加する学生に願うことは、実習によって、実習先の病院や施設の特色を知り、自分の希望や考えを知る学びの機会にして欲しいと思います。

学外実習によって、学んだ知識を確実なものとし、学内での知識を深めながら、実習体験を重ねることによって、専門性の高い職を目指す者として、誇りを持ち、自己の未来を切り拓く力にしていくことを願っています。

就職活動の取り組み

米国に端を発した世界的な金融市場の混乱により、景気後退や経営危機により、大学卒の企業も大幅に減少し、学生の就職難が続いています。大手の就職情報会社の中で、参加企業が少ないこともあり、早い時期で、合同説明会を中止したところもあります。企業は、採用人数の減少もありますが、経費縮小から合同説明会参加費用の削減なども考えられ、企業の参加数が例年に比較し、かなり減ってきています。

七月十六日札幌コンベンションセンターで高校生一般求職者を含め大学・短大・専門学校生の平成二十二年三月卒業予定者を対象にした北海道などの行政・中小企業団体中央会などによる合同就職面接・説明会が開催されました。

就職情報会社主催の合同企業説明会は、道外に本社を置く企業の参加が多いですが、今回の面接・説明会は道内の企業の参加がほとんどでした。

参加企業は110社で、三千人近くの参加者でした。

本学就職課では、未内定の外国語学部、健康栄養学科の学生に、手紙やメールによってこの説明会の知らせや参加を促してきました。履歴書を持参し、当日、会場で採用面接を受けた学生もいます。参加した学生は、今年の就職環境の厳しさを再確認したようです。

参加したある学生の言葉を紹介したいと思います。
早くから就職活動してきたが、なかなか内定が取れず、最近疲れ気味であったが、今回の参加で、改めて厳しさを実感した。気持ちを改めて、緊張感を持って就職活動に臨んでいかなければならない。

履歴書・面接など今迄の選考試験の対応の仕方を見直し、自分の課題を把握し、その対策に具体的に取り組む。

現在選考の時期ではあるが、自分の考えが甘く、継続して自分を高めていく努力を続けていかなければならない。

自分だけの企業情報には限りがある。広く仲間と情報交換をしながら頑張っていきたい。

今迄特定の企業や企業の規模などに絞って志望してきたが、自分のやりたい業種・職種にこだわりながらも現実の採用の厳しさを考え、もう少し広く志望先を選択する目を持ちたい。早くから就職活動をしてきている学生程これらのことを実感してきているようです。

就職課としても、ご父母の皆さんの願いを受け止めながら一人ひとりの学生の進路実現に向けて、大きな援助を最後まで続けていきたいと決意しているところです。



平成20年度 決算

平成21年度 予算

＜収入の部＞

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	9,633,928	9,633,928	
会 費 収 入	29,040,000	27,060,000	会費16,500円*1,640名
雑 収 入	20,000	19,479	普通預金利息
合 計	38,693,928	36,713,407	

＜収入の部＞

科 目	予 算	備 考
繰 越 金	7,132,769	
会 費 収 入	27,555,000	16,500円*1,670人(在学予定数1,800人-留年者60人-未納者70人)
雑 収 入	15,000	普通預金利息
合 計	34,702,769	

＜支出の部＞

科 目	予算額	決算額	備 考
1.事務費	1,300,000	602,756	
(1) 通信費等	1,300,000	602,756	総会・父母懇・役員会等案内状郵送・大学名入封筒等
2.会議費	1,700,000	1,183,968	
(1) 総会	500,000	450,052	総会費用・役員交通費・紅白饅頭(入学式配布)
(2) 役員会費	1,200,000	733,916	「WG4回」・「役員会3回」の打合せ・交通費
3.事業費	28,825,000	23,078,339	
(1) 学生活動助成	12,525,000	11,579,141	学生数按分～(大学1,600名・短大160名)(大学9・短大1)
(a) 学生会助成	900,000	900,000	学生会(大学)・学生会(短大)助成(大学810,000円・短大90,000円)
(b) 文化・体育助成	6,000,000	5,688,096	学生活動に関する助成(大学5,400,000円・短大600,000円)
(c) 各種行事助成	900,000	900,000	大学祭・体育大会等行事助成(大学810,000円・短大90,000円)
(d) 感染症抗体検査費	4,725,000	4,093,045	麻疹の抗体検査費用
(2) 「後援会文庫」整備事業費	1,000,000	964,727	書籍等
(3) 父母懇談会	2,500,000	1,438,403	本学キャンパス・地方2会場(函館・釧路)
(4) 卒業記念助成	2,700,000	2,092,870	卒業生記念品・紅白饅頭(卒業式配布)
(5) 「卒業祝賀会」費	3,000,000	2,944,058	卒業祝賀会費用
(6) 就職活動助成	3,500,000	3,289,890	就職講座等
(7) 短期大学部卒業証書整備事業費	700,000	264,600	「エレビアン用ヘッドフォン」
(8) 修学資金貸付金	0	0	
(9) 修学資金貸付金特別会計繰出金	2,000,000	0	
(10) 広報費	700,000	454,650	会報(平成20年7月・平成21年3月)
(11) 慶弔費	200,000	50,000	5件
4.予備費	6,868,928	4,715,575	アドバイザー制度助成(学生指導助成事業)・学園創立65周年記念事業
支出合計	38,693,928	29,580,638	

＜支出の部＞

科 目	予 算	備 考
1.事務費	800,000	
(1) 通信費等	800,000	総会案内・会報・その他案内等発送費
2.会議費	1,220,000	
(1) 総会	560,000	総会費用(40,000円)・紅白饅頭(370円×1,390人)＝514,300円
(2) 役員会費	660,000	役員会150,000円×3回-WG70,000円×3回
3.事業費	26,335,220	
(1) 学生活動助成	9,800,000	学生数按分(大学9.2:短大0.8)
(a) 学生会助成	900,000	学生会(大学)・学生会(短大)への助成
(b) 文化・体育助成	7,000,000	課外活動への助成・サークル数増により増額
(c) 各種行事助成費	900,000	行事助成
(d) 感染症抗体検査費		
(e) 学生福利厚生施設設備費	1,000,000	キャンパス内のベンチ等の整備
(2) 「後援会文庫」整備事業費	2,000,000	書籍の購入
(3) 父母懇談会	2,000,000	参加予定人数で算出
(4) 卒業記念助成	2,500,000	卒業記念品500個(2,000,000円)・卒業生数は増だが、記念品の単価が減のため予算減額・紅白饅頭(370円×1,300人)＝481,000円
(5) 「卒業祝賀会」費	3,500,000	卒業祝賀会費用 卒業生増により増額
(6) 就職活動助成	3,500,000	就職講座等
(7) 短期大学音楽設備整備事業費	185,220	エレビアン用ヘッドフォン(4,410円×新入生予定数42人)
(9) 修学資金貸付金特別会計繰出金	2,000,000	
(9) 広報費	650,000	会報300,000円×2回・広報50,000円
(10) 慶弔費	200,000	
4.学生指導助成	1,800,000	1,000円×1,800人(平成20年度は予備費から支出)
5.後援会活動調整基金	1,000,000	学園創立70周年記念事業・学生サークル会館の整備等
6.予備費	3,547,549	
支 出 計	34,702,769	

収入・現決算額 36,713,407
 支出・現決算額 29,580,638
 決算差異額 7,132,769(繰越額)

平成21年度
後援会
事業計画

平成21年 4月4日	定期総会	平成21年 10月	中間監査
平成21年 4月	第1回ワーキンググループ	平成21年 10月	第2回ワーキンググループ
平成21年 5月	第1回役員会	平成21年 11月	第2回役員会
平成21年7月18日・19日	大学祭(札幌キャンパス)の助成	平成22年 3月	第3回ワーキンググループ
平成21年 7月18日	父母懇談会(札幌キャンパス)助成	平成22年 3月13日	平成21年度学位授与式記念品助成
平成21年 8月～9月	父母懇談会(在学生出身地により決定函館・北見会場を想定)	平成22年 3月13日	平成21年度卒業祝賀会及び同窓会入会式助成
平成21年 10月10日・11日	大学祭(恵庭 キャンパス)の助成	平成22年 3月	監査
平成21年 10月11日	父母懇談会(恵庭キャンパス)の助成	平成22年 3月	第3回役員会

平成21年度父母懇談会

父母懇談会は、大学、父母、学生間の相互理解を図る三位一体の教育を目的として、大学と後援会が協力して左記の日程で開催し、大学と教育の現状をご理解いただけるよう計画しております。

キャンパス会場では、学生のキャンパスライフもご覧いただけるように大学祭当日に開催し、地方会場は今年度は函館・北見で開催いたします。

当日は、大学の現況、就職、教務、学生生活関係の報告のほか、個人面談では成績表などを用意してきめ細かく対応しますので、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

詳細は「父母懇談会のご案内」をご覧ください。

キャンパス会場

※キャンパス会場は大学祭を開催しております。

札幌キャンパス／平成21年7月18日(土)実施済み
 北海道文教大学短期大学部
 札幌市南区藤野400番地
 011(591)8531

恵庭キャンパス／平成21年10月11日(日)

北海道文教大学
 恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
 0123(34)0011

地方会場

※北海道文教大学

函館会場／平成21年8月30日(日)

ロワジールホテル函館 函館市若松町14番10号

北見会場／平成21年9月5日(日)

ビッグアークホテル 北見市北2条4丁目